

平成30年度(2018年度)

管理事業名	佐井寺西土地区画整理事業			総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 19 佐井寺西土地区画整理事業
部局名	土木部	予算執行所属	地域整備推進室		
予算大事業名	佐井寺西土地区画整理事業				
		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名			
事業の目的と概要 【目的】 都市計画道路と周辺低未利用地を一体的に整備することで、土地利用を誘導し、秩序ある良好なまちづくりを行う。 【概要】 ・土地区画整理 ・都市計画道路佐井寺片山高浜線の整備 ・都市計画道路豊中岸部線の整備					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
事業進捗率	%			0.4	執行事業費累計/総事業費
成果の説明	・事業は令和元年度に都市計画決定、令和2年度に事業認可を取得し、令和3年度から工事着手予定です。 ・平成30年度の業務において都市計画決定に必要な調査、基本計画の作成が完成しています。 ・今後詳細な設計等を行い、総事業費の精査を行い、精度の高い指標の設定に努めます。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	6,400	6,400
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	6,400	6,400
給与関係費	-	-	16,007	16,007
物件費	-	-	37,032	37,032
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	1,306	1,306
退職手当引当金繰入額	-	-	14,689	14,689
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	69,035	69,035
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△62,635	△62,635
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△62,635	△62,635
一般財源充当額	-	-	48,034	48,034
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	△14,600	△14,600

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	土地区画整理事業に係る調査業務 23,619,600円 環境影響評価業務 10,831,821円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	6,400	6,400
行政サービス活動支出	-	-	54,434	54,434
行政サービス活動収支差額	-	-	△48,034	△48,034
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△48,034	△48,034
一般財源充当額	-	-	48,034	48,034
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 街路交通量調査費補助金 6,400千円
----------	-------------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度		円	平成31年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり186円のコストがかかっています。
	平成29年度		円	
	平成30年度	371,030 人	186 円	
施行区域面積あたりのコスト	平成28年度		円	施行区域面積1haあたり、3,287円のコストがかかっています。
	平成29年度		円	
	平成30年度	21 ha	3,287 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	1,306	1,306
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	1,306	1,306
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	-	13,294	13,294
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	-	13,294	13,294
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	14,600	14,600
有形固定資産	-	-	-	純資産	-	△14,600	△14,600
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	-	△14,600	△14,600
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

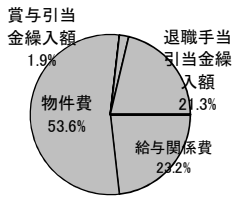
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	2人	人	日	人	32,003
給与関係費等	32,003千円	千円	千円	千円	
内、時間外勤務手当	1,616千円				

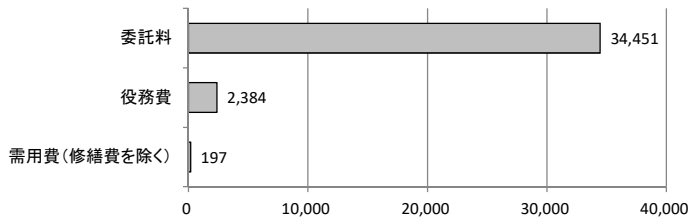
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	88.2	88.2

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業が調査段階であるため、資産の計上はなく、費用の計上のみとなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

今後においても、国の補助金、交付金等を活用し、一般財源の負担軽減に努めます。